

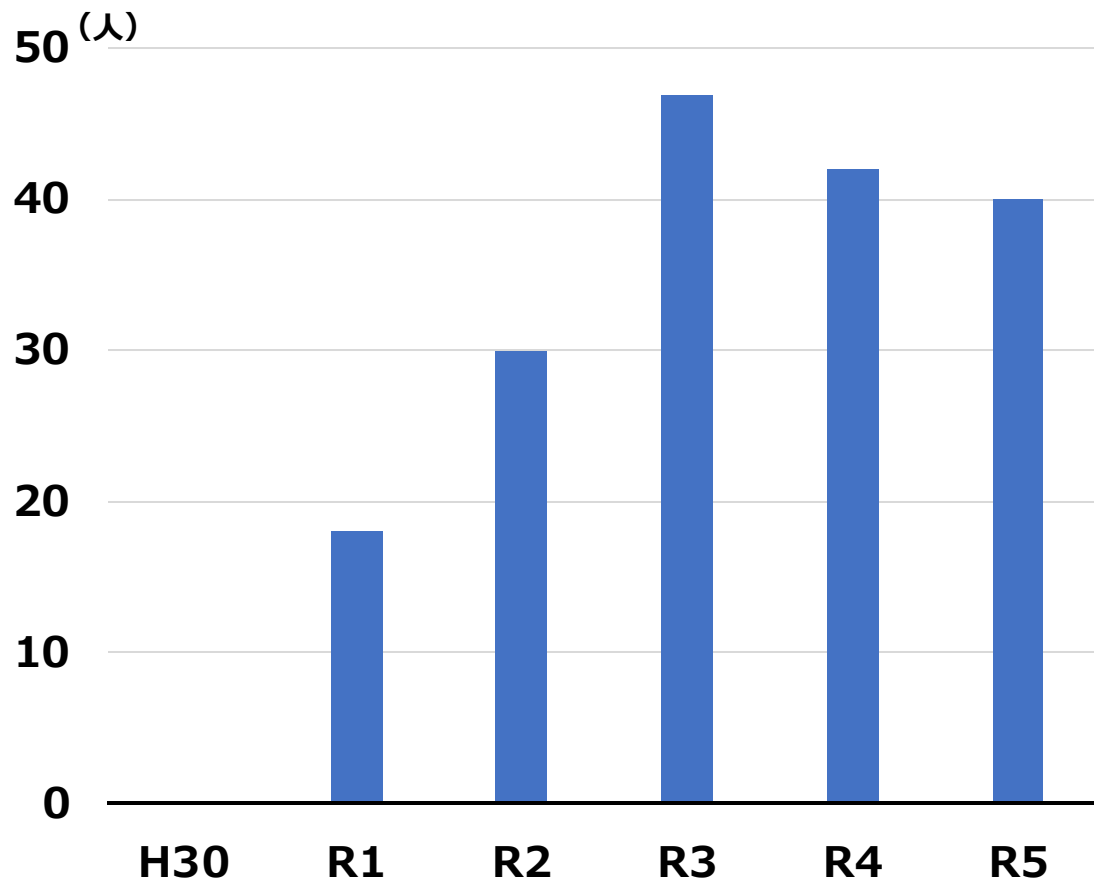
**熊本大学病院、熊本県肝疾患専門医療機関における  
肝がん・重度肝硬変医療費助成申請への取り組み**

**熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科**

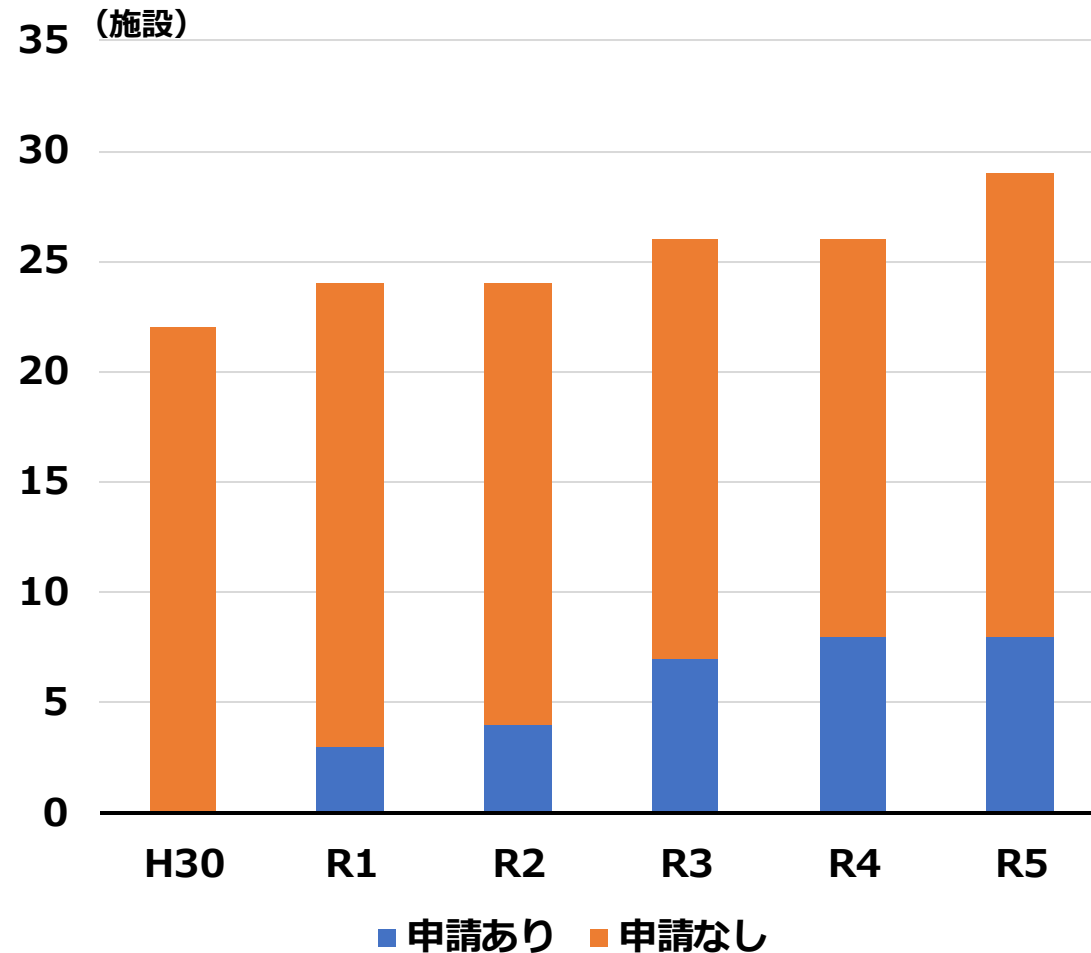
**瀬戸山博子**

# 熊本県における肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加状況

## 参加者数の推移



## 指定医療機関数の推移

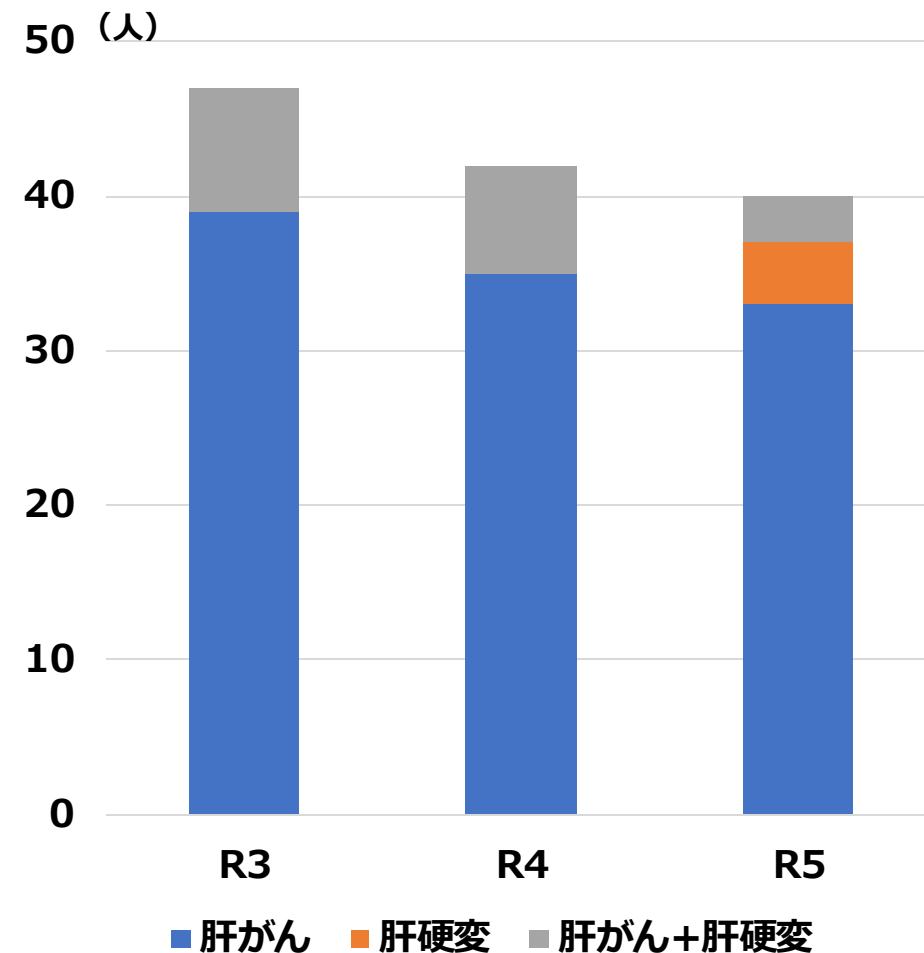


# 熊本県における肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加状況

## 施設ごとの申請者数

R3 : 48名		R4 : 42名		R5 : 40名	
熊大病院	39	熊大病院	34	熊大病院	29
A	3	A	2	I	3
B	2	B	1	B	2
C	1	C	1	A	1
D	1	D	1	C	1
E	1	E	1	J	1
F	1	G	1	G	2
		H	1	H	1

## 申請理由



# 肝がん・重度肝硬変治療促進事業における熊本大学病院での取り組み

## ポイント1

医療費助成対象となるような治療は概ね入院での導入である

## ポイント2

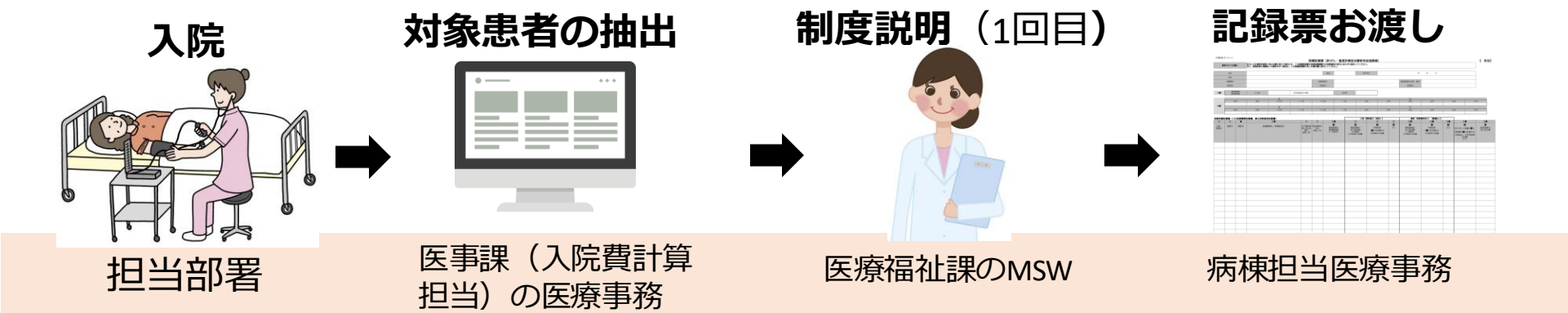
年齢、加入保険制度により年収要件が異なる

(主治医だけでなく本人にも良くわからない)

## ポイント3

1回目のカウント対象月から記録票があるとなかなり楽になる

1回目のカウント対象月



特記すべき点

所得区分は本制度に関わらず、全患者に対して算出している  
対象治療かわからないときは医師に確認

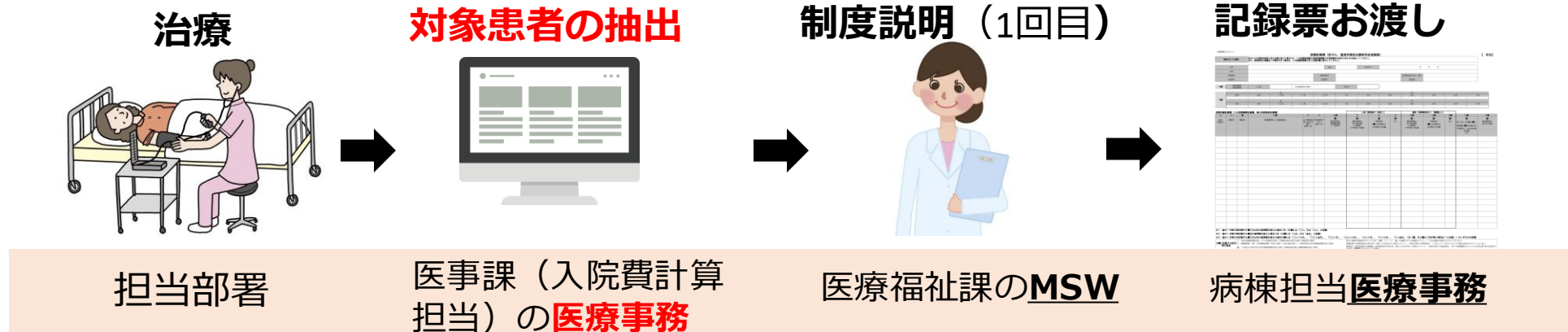
とにかく記録票を必ず通院、入院の度に持参することを強調している

顔見知りの存在から退院時に再度声かけ

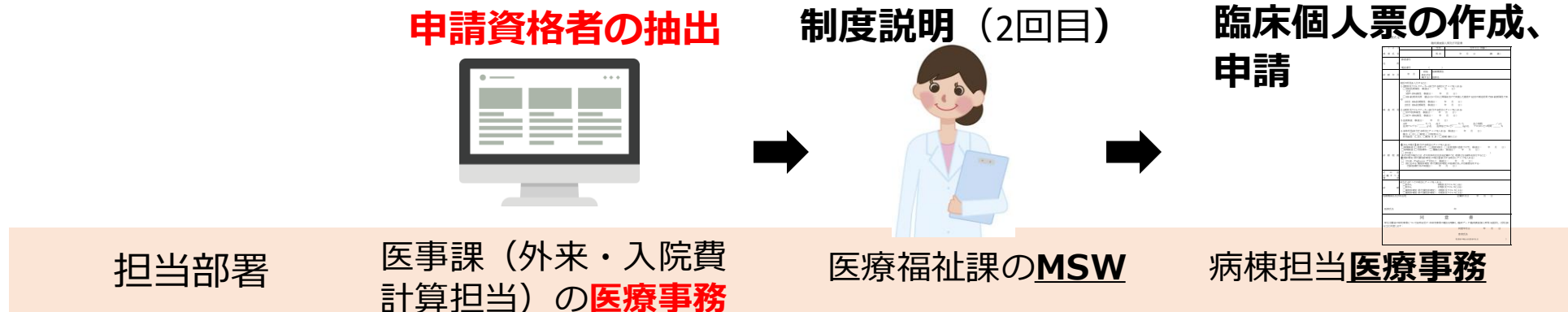
# 肝がん・重度肝硬変治療促進事業における熊本大学病院での取り組み

## 助成対象となりうる患者や申請月の抽出を計算担当の医療事務が担当

### 1回目のカウント対象月

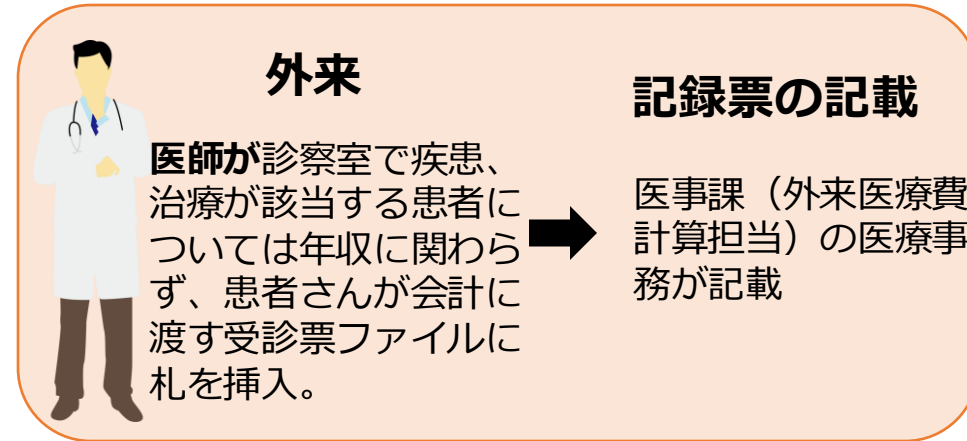
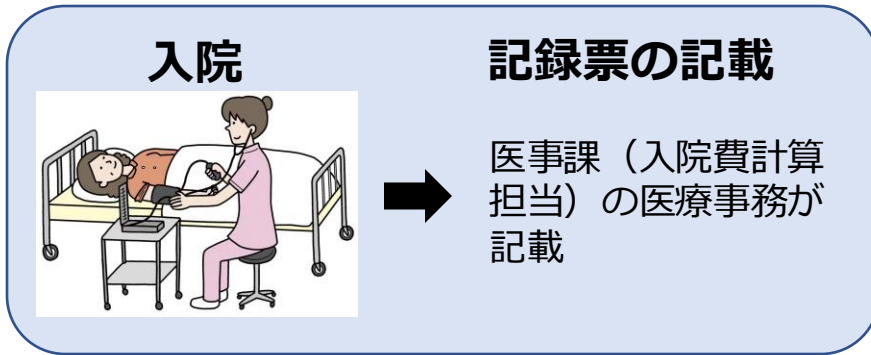


### 2回目のカウント対象月 (申請時)



# 肝がん・重度肝硬変治療促進事業における熊本大学病院での取り組み

記録票作成以降の入院、通院



入院、外来とも該当と思われる症例が不明な点は医師に問い合わせ

## なぜ全員が申請しないか（断られる理由：MSWからのヒアリング結果）

- 70歳以上低所得者工区分などの医療費上限が月8000円の人  
は申請メリットがない（受療者は70歳以上が多い）
- 高齢者には理解が難しい（家族にも連絡したりしている）
- 外来は償還払いなので手間が面倒と言われる

\* 過去3ヶ月で申請した人数/2回目の制度説明を行った人数

8月 2/4

9月 1/1

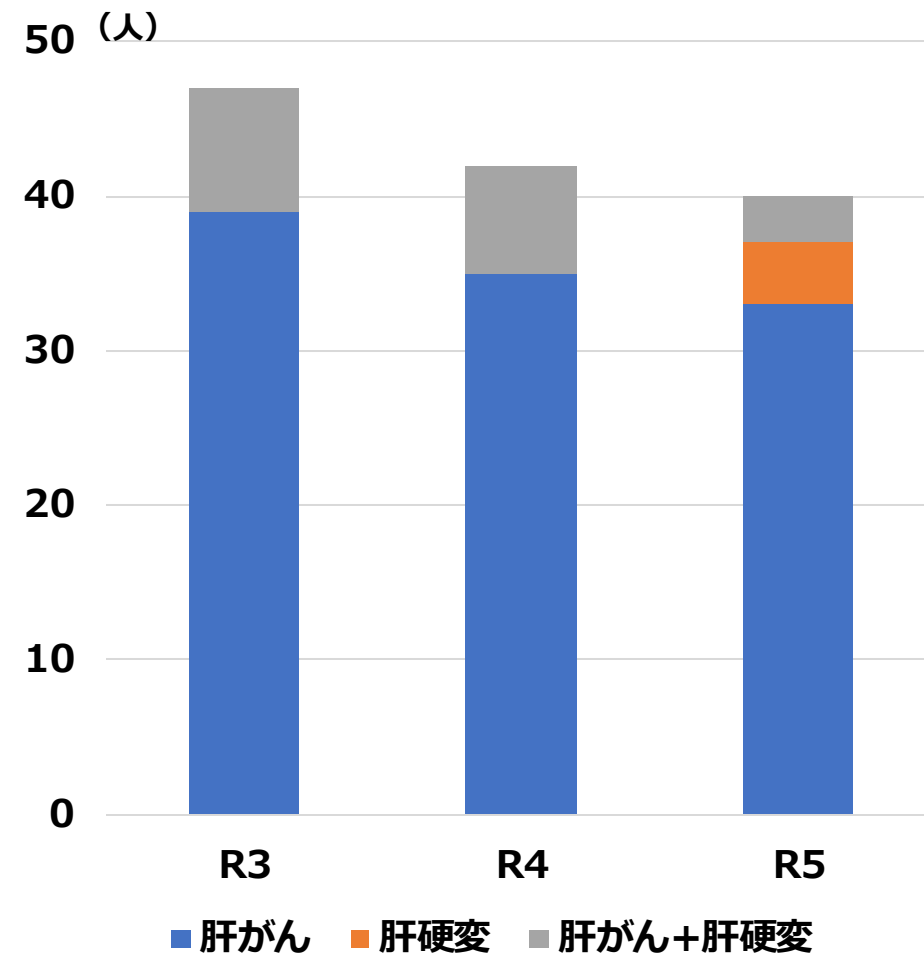
10月 1/3

# 熊本県における肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加状況

## 施設ごとの申請者数

R3 : 48名		R4 : 42名		R5 : 40名	
熊大病院	39	熊大病院	34	熊大病院	29
A	3	A	2	I	3
B	2	B	1	B	2
C	1	C	1	A	1
D	1	D	1	C	1
E	1	E	1	J	1
F	1	G	1	G	2
		H	1	H	1

## 申請理由



# 熊本県肝疾患専門医療機関における取り組み状況

## 【対象】

- 熊本県肝疾患診療連携拠点病院
- 熊本県肝疾患専門医療機関19施設  
〔主に地域の基幹病院である二次、  
三次医療機関〕

## 【方法】

肝炎ウイルス陽性者拾い上げおよび肝がん・重度肝硬変医療費助成申請に関する院内連携を中心とした取り組みについて調査票を郵送し、Fax、Googleフォームにて回答を得た。

## 【調査項目】

1. 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関の有無
2. 申請促進に対する対応、申請数  
(2021年度実績)

## 【回収率】

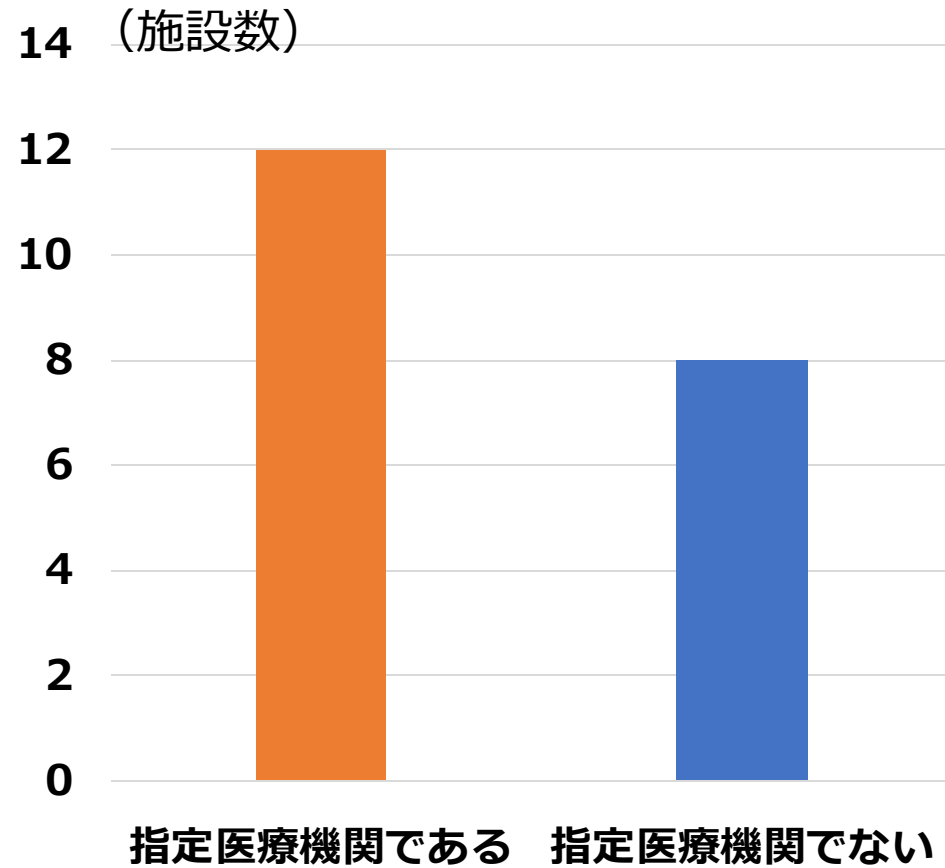
20施設/20施設 (100%)

\*一部無効回答あり

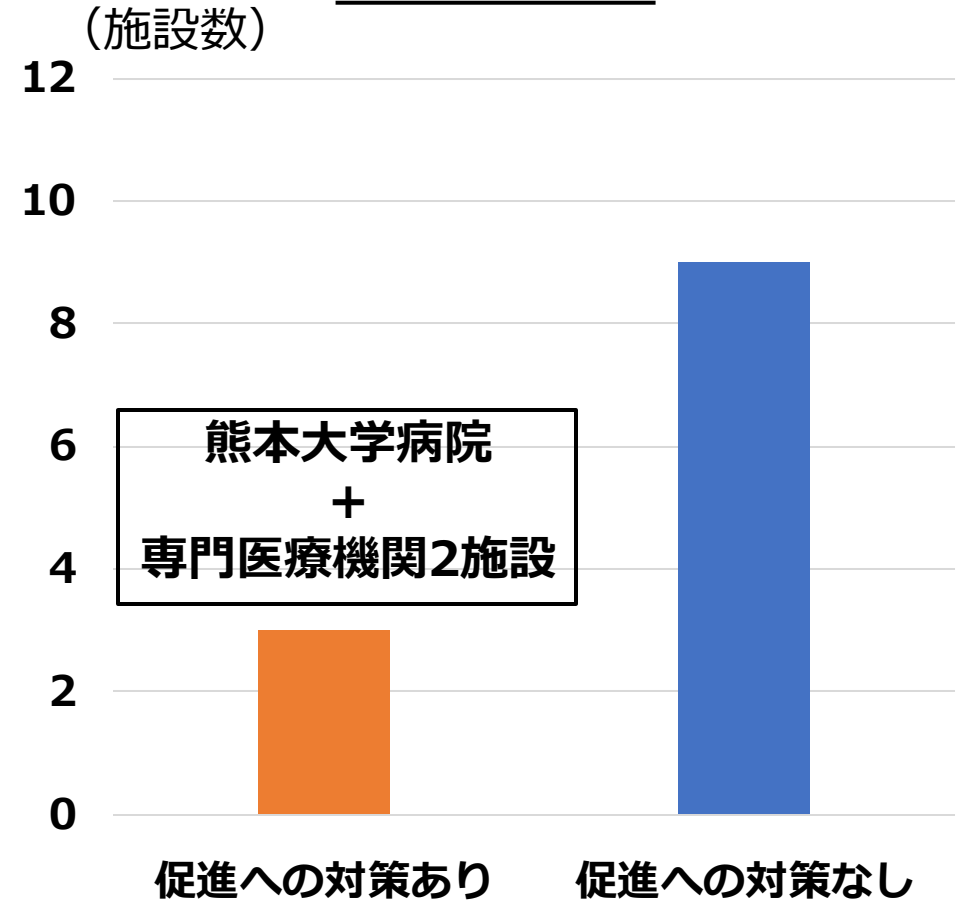


# 肝がん・重度肝硬変医療費助成申請促進の取り組み

## 指定医療機関申請の有無

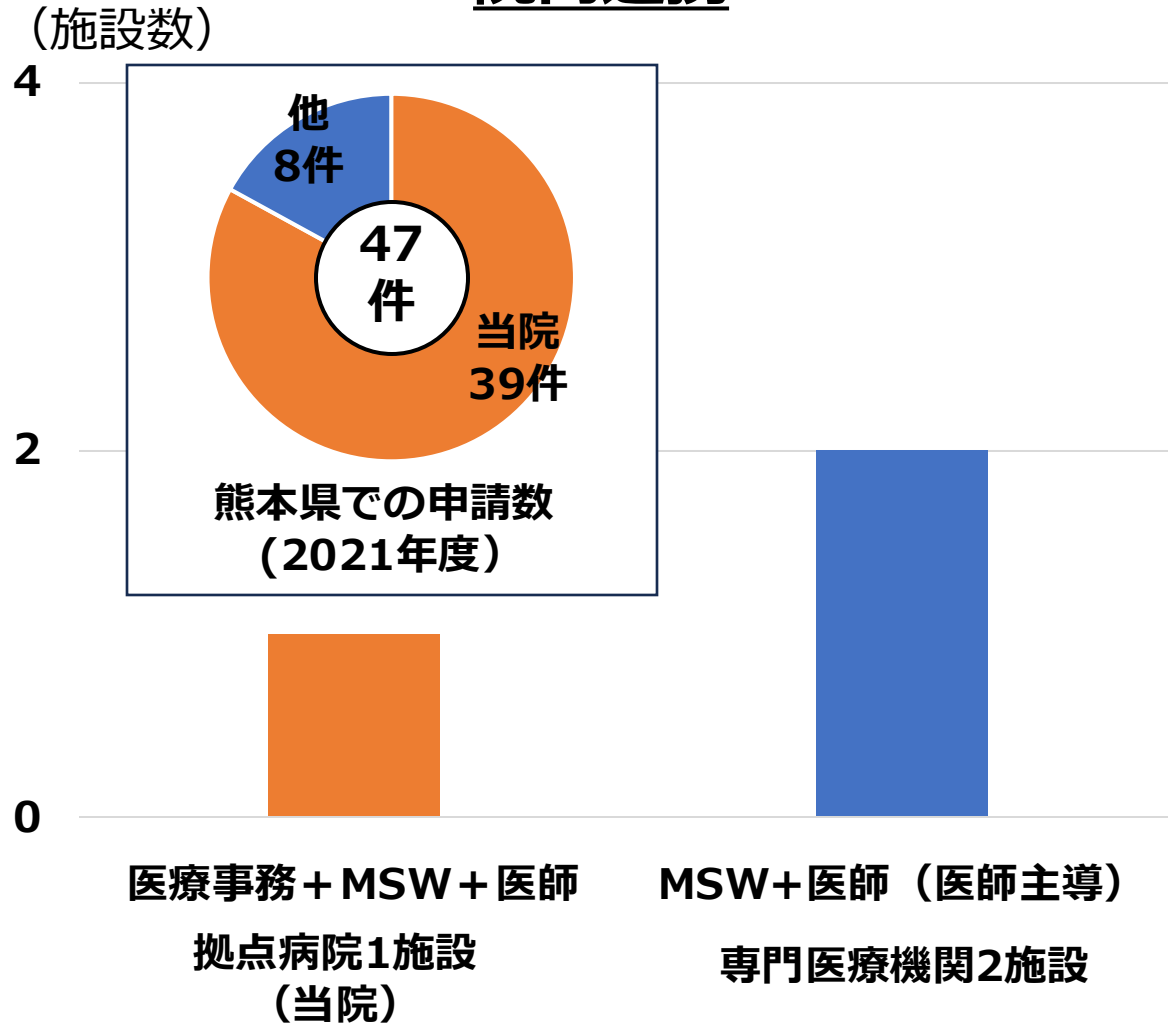


## 申請促進に向けた 対策の有無

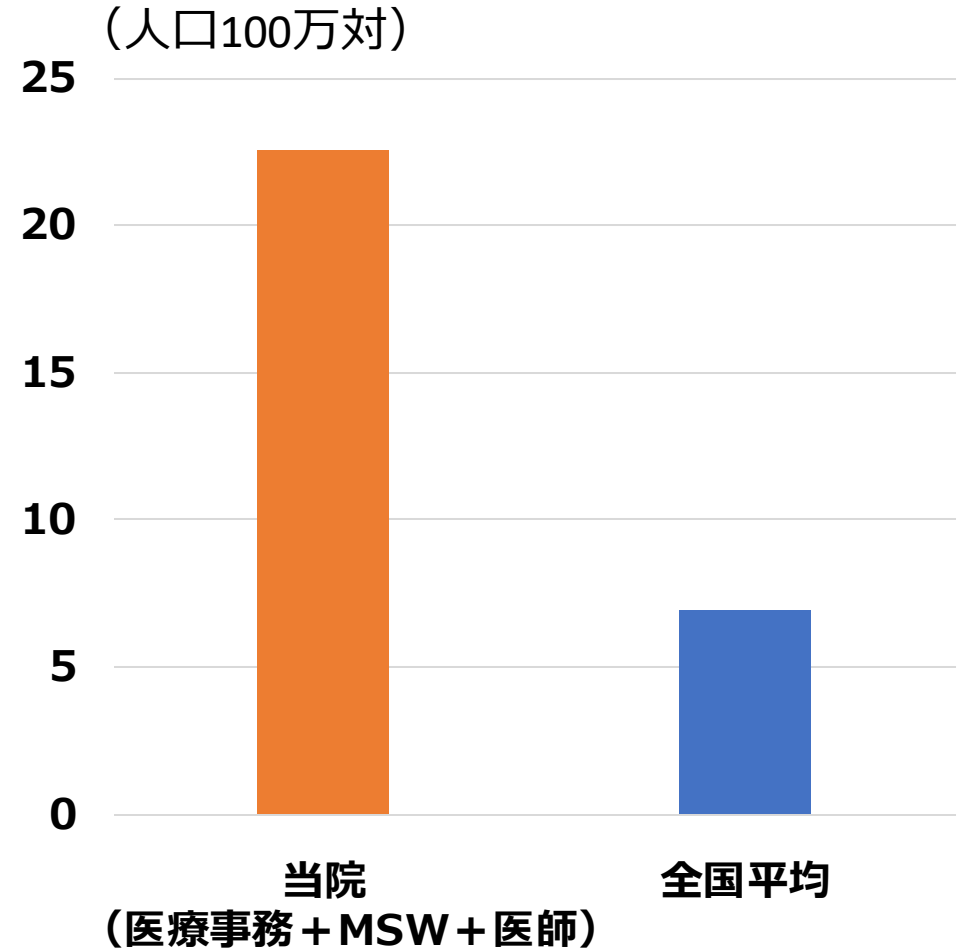


# 肝がん・重度肝硬変医療費助成申請促進の取り組み

## 対策を行っている3施設の 院内連携



## 新規申請数 (2021年)



# 今後の予定

- 対象患者の抽出への適切な職種を組み入れは助成申請促進に有用
- 専門医療機関において、肝がん・重度肝硬変医療費助成の申請促進に対策をとっている施設は少数
- 指定医療機関数の増加も課題

熊本県での助成申請促進を  
目指して

1. 肝がん患者数が多い3施設で申請促進のスキームづくり
  - ✓ ヒアリングの実施
  - 3施設の担当者を対象とした勉強会開催
  - 3施設で成果が得られたらさらに対象を広げる
2. 指定医療機関数↑を目指して、医療機関への周知を強化

## 謝 辞

阿蘇医療センター

熊本赤十字病院

公立多良木病院

天草地域医療センター

熊本総合病院

済生会熊本病院

上天草総合病院

熊本地域医療センター

新生翠病院

熊本医療センター

熊本中央病院

人吉医療センター

くまもと県北病院

熊本大学病院

水俣市立総合医療センター

熊本市民病院

熊本南病院

山鹿市民医療センター

くまもと森都総合病院

熊本労災病院

(五十音順)